

この町で、何者になる？

暮らす・働く・関わるから考える、
これからのローカルキャリア

「このまま今の仕事を続けていいのかな」

「地域でもっと何かやってみたい。でも、自分に何ができるのか分からない」。

そんなことを考えたことはありませんか？

キャリアは「どこで働くか」「どんな仕事に就くか」だけではありません。会社で働く、自分で仕事をつくる、農業や地域活動に関わる、誰かとプロジェクトを始める、学び直す、家族との暮らしを大切にする——その形はさまざまです。

「40010ローカルキャリア・ミートアップ」では、企業勤務や海外経験を経て四万十町へ移住し、地域に新たな立場から関わる横田麻梨子さんと、農業・地域づくり・教育・研究など複数の領域で活動する田畑勇太さんをゲストに迎えます。

託児無料!

子連れ参加OK!

※託児をご希望の方は
申込時にお知らせ
ください。—— 申込締切 ——
10/7(水)中2026
10/10 土
14:00-17:00

会場

遊芸庵 (四万十町茂串町215-13)

定員

20名程度

参加費

無料 (交流会は会費制)

タイムライン

第一部 ゲストトーク

第二部 トークセッション

第三部 グループワーク&ゲストを交えた対話

※終了後、ゲストと参加者の交流会を予定しています
【会費制・希望者のみ】

対象

- ・地域での自分らしい働き方・暮らし方を考えてみたい方
- ・今の仕事やこれからのキャリアについて考えている方
- ・地域で何か新しいことを始めてみたい方
- ・地域活動やまちづくりに興味がある方
- ・移住後の働き方・地域との関わり方について考えている方
- ・本業以外にも、自分の得意なことや好きなことを生かしてみたい方
- ・新しい人や価値観と出会いたい方

※上記に限らず、どなたでもご参加いただけます

GUEST ゲスト



横田 麻梨子 四万十町議会議員

2児の母。株式会社Plan・Do・Seeに14年勤務。全国のホテル現場を経験し、アメリカ企業への出向・海外勤務を経て、現場責任者、東京本社での人事・社長秘書を担当。2022年、家族で四万十町へ。高知の企業で広報・マーケティングに携わり、情報発信や広告メディア対応に従事。2025年から夫の農業にも関わる。四万十町の未来を子どもたちへつなげたいとの思いから、2026年に町議会議員に挑戦し、当選。

田畑 勇太 一般社団法人れいほく未来創造協議会 広報企画担当

高知県土佐町在住。大学卒業後、大豊町の限界集落へ移住し、トマト農家を営みながら地域づくりに携わる。現在は一般社団法人れいほく未来創造協議会、一般財団法人もりとみず基金、森地域集落活動センターなどで、子ども食堂や教育・地域活動の企画運営に取り組む傍ら、高知大学大学院で地域コミュニティと社会関係資本を研究。実践と研究の両面から、地域で暮らし、働き、関わり続けるローカルキャリアのあり方を探究している。



COORDINATOR コーディネーター

須藤 順 高知大学地域協働学部・教授/神山まると高専・准教授



申込方法

下記いずれかの
QRコードからお申し込み下さい専用
フォーム

Peatix



お問い合わせ先

● 四万十塾運営事務局
(40010ローカルキャリアカフェ担当)
✉ 40010info@gmail.com

お問い合わせフォーム

● 四万十町にぎわい創出課(担当: 友永)
☎ 0880-22-3281
✉ syoko-koyo-40010@town.shimanto.lg.jp

主催 四万十町

運営 高知大学地域協働学部
コミュニティデザイン研究室